

第2回九大跡地のまちづくりワークショップの報告

天神地区等の事例調査を実施し、跡地のまちづくりについてさまざまな意見を出し合いました。これらの意見を参考に、まち協で今後検討を進めていきます。

※本内容はワークショップにおいて出された意見であり、跡地利用がこの内容で決定されたものではありません。

発行
草ヶ江校区まちづくり協議会
福岡市中央区六本松 1-11-1
(草ヶ江公民館内)
電話 092-741-7998
平成 21 年 3 月 30 日発行

第2回九大跡地のまちづくりワークショップの報告(H21. 2. 8:事例調査、2.13:「跡地まちづくりについて」)

第1回の九大跡地の『緑や記念碑等についてのワークショップ』に続き、平成21年2月13日(金)に、跡地のまちづくりを検討するための第2回ワークショップを開催しました。これに先立ち、跡地のイメージを考えるため、2月8日(日)に、薬院大通り地区や天神地区の街並み等の事例調査を実施しました。

事例調査はさわやかな天気のもと、関係者を含め約40名が参加し、視察先の感想や意見記入、歩道幅員の測定、写真撮影などの作業を行いました。

第2回ワークショップでは、関係者を含め約40名が参加し、まず事例調査の振り返りとして、いいところ、悪いところの仕分けとその内容、具体的な写真の選定を行いました。続いて、これらを参考に、跡地のイメージについて話し合い、グループの意見として取りまとめました。この結果は裏面に表示しています。

『通路・歩行者空間』では、歩きやすい、ゆとり、緑、並木といったキーワード、『緑・広場』では、いろいろなことができる、自然が感じられる、いこい、六本松の記念といったキーワード、『景観・にぎわい』では、人が集まる、くつろげる、歩いて楽しい、周辺部は落ち着きのあるといったキーワードが出されました。

■事例調査の風景



■事例調査のプログラム

<2月8日(日) 9:30~13:00 開催>

①薬院大通り地区の調査

薬院大通り駅に直接連絡した商業・医療施設等と高齢者用住宅、一般住宅からなる複合ビルについて、歩道空間や建物の外部空間等を中心に調査しました。

②天神地区の調査

天神中央公園、アクロス福岡、イムズ、エルガーラ周辺において、オープンスペース、歩道、建物と周辺空間との関係等について調査しました。

■第2回跡地まちづくりワークショップのプログラム

<2月13日(金) 18:00~20:30 開催>

①事例調査の振り返り

全体を2グループに分け、2月8日に実施した事例調査について、いいところ、悪いところに分けて整理しました。

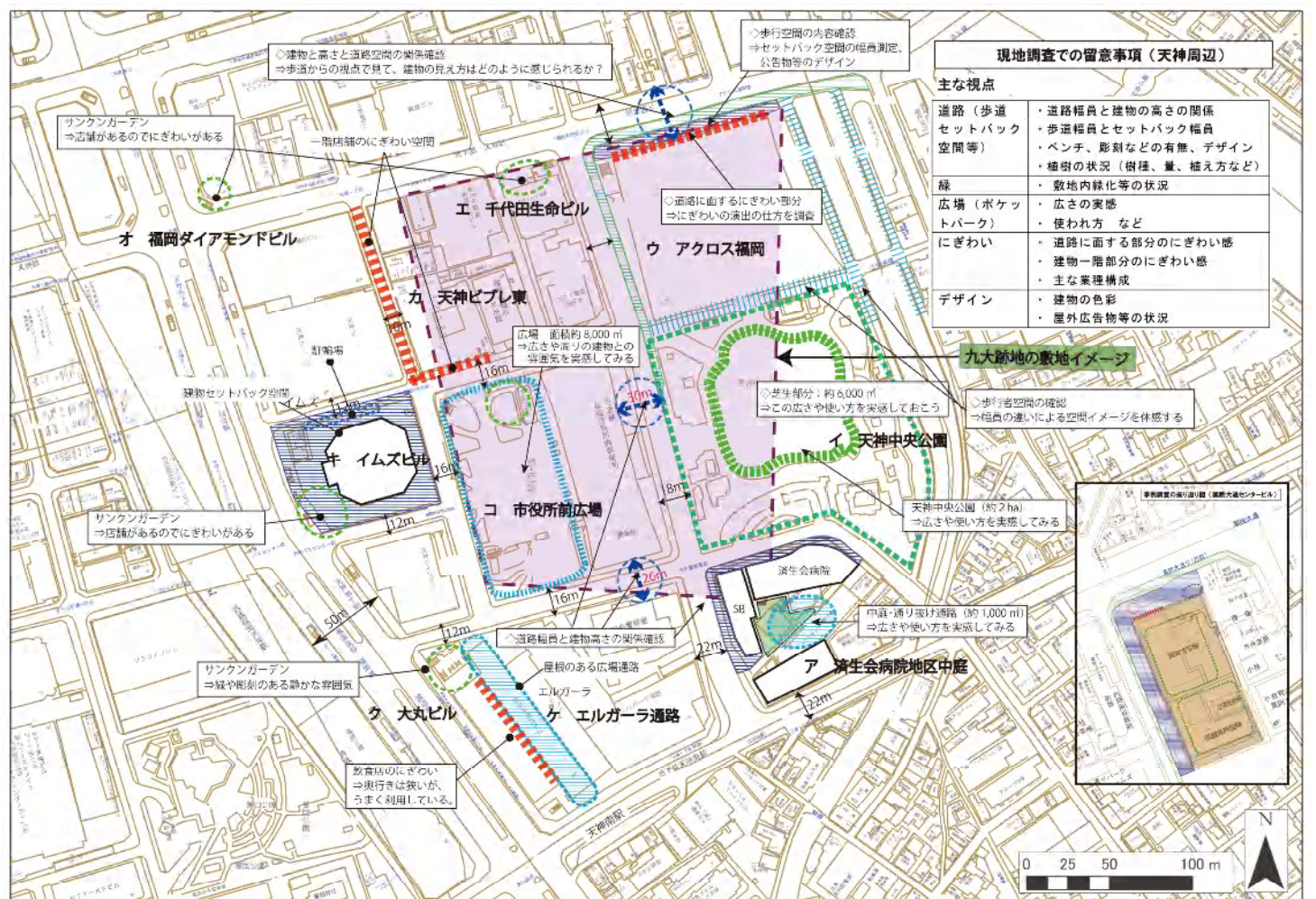
②跡地における街並みづくりの検討

4班で、跡地について『道路・歩行者空間』『緑・広場』『景観・にぎわい』というまちづくりの視点をもとに意見を出し合い、まとめました。

③グループ発表

各班で、事例振り返り図と跡地イメージシートについて発表を行いました。

■事例調査の場所(天神市役所周辺および薬院大通り地区)



注：ワークショップにおいて出された意見であり、跡地利用がこの内容で決定されたものではありません。

■跡地のイメージ(班別発表とりまとめ)

第2回ワークショップ:H21.2.13 18:00~21:00

視点	街並みのイメージ			
道路・歩行者空間	場所イメージ	跡地内部	大通り沿い	住宅地周辺
	1班	●屋根がある歩道 ●いこいの場がある	●歩道、さわやか ●道幅が広い ●豊かな植栽 ●人と自転車の分離道	●緑豊かで変化のある歩道 ●夜間照明を確保する
	2班	●色々な意味で人にやさしい街並みづくり(バリアフリー、エコな街) ●福岡市のモデルになるような落ち着いた開発を ●福高、九大の90年の歴史を感じさせるような格調高い開発を	●ゆとりや入りやすさが共存するほどほどの広さスペース ●公共的な施設をここに	●セットバックしてできるだけ大木は残す(周辺の並木も) ●外壁は目障りにならないものをつくる
	3班	●緑道でバリアフリー、歩きやすい ●四季を感じる植栽帯を考える	●アクロス北側がいい ●床の配色、材料に変化を	●緑の向こうに建物が見える ●小鳥のさえずりが聞こえる ●水のせせらぎが聞こえる
4班	●車は少なく、大きな空間<広場>	●大きくセットバックしゆとりある、安全な緑がいっぱいある	●建物が圧迫せず、明るく、広く、緑多い空間！！	
緑・広場	場所イメージ	まとまった広場	ポケットパーク	緑、街路樹
	1班	●中央公園くらいの広さがほしい ●おまつり広場がある ●水辺のある広場 ●子供ひろばをつくる	●跡地の記念建造物保存 例:亭々舎、図書館等、保存樹 ●ポケットパークの中に組み込む	●既存樹を残す ●四季を感じられる 例:春-桜 夏-ケヤキ等 秋-銀杏、紅葉 冬-椿、梅
	2班	●できるだけ広く、緑にして ●シンボリックな樹木を残す	●九大のモニュメントをここに ●いこいの広場や空間づくり	●できるだけ残す
	3班	●中央広場は広大な芝張り ●地下は自走式駐車場 ●緊急時は避難地広場	●緑豊かで静かな佇まい ●花壇の縁がベンチ、座りやすい	●シンボル、モニュメントが欲しい ●六本の松、シンボルを考える
4班	●自然の風と緑と水辺と陽の光を感じる広大な空間	●広めで、季節感のある植栽豊かなくつろげる空間	●既存の樹木を残し、水辺のある空間、風のそよぐ...	
景観や賑わい空間	場所イメージ	跡地内部	大通り沿い	住宅地周辺
	1班	●六本の松を植えてみる ●モニュメントをつくる エリア毎、対象者別? ●散策路、遊歩道をつくる	●オープンカフェスペース等 ●街を彩るショップ ●歩いて楽しい大通り	●安全で、生活の香りがする周辺部 例:パン屋、花屋 ●九大学問の道をつくる ●歴史を感じる街路 ●回遊歩道をつくる
	2班	●みんながくつろげる場所 ●駐車場は地下に	●六本松らしく(天神から帰ってホッとする) ●前面緑で落ちついた雰囲気	●建物高さ、色が周辺にやさしく
	3班	●高低差、立体的な都市空間 ●屋根付通路がいい ●六本松商店街の再現を	●車が見えない落ち着きある小空間 ●立寄れる横町空間	●子ども、老人が語らう広場 ●誰もが立寄れる空間
4班	●たくさんの人々が集い、いつも笑い声が(特に子供)ひびいている空間	●あたたかく、楽しく、人にやさしいイメージが良い	●路地ある商店や、なつかしいカフェや落ち着いた街並みのイメージ	

■当日(2/13)のワークショップの作業風景

■跡地のゾーン分けイメージ



◇全体説明



◇1, 2班現地調査振り返り



◇3, 4班現地調査振り返り



今回の記事や跡地のまちづくり等について、ご意見、ご感想などありましたら、草ヶ江公民館のまち協ボックスにお寄せください。

氏名 ()



◇各班跡地イメージづくり



◇現地調査振り返り発表



◇跡地イメージ発表

